

「学びのユニット」指導計画 1年 A 歌唱



「青空へのぼろう」を主要教材にして、歌唱の基礎的な技能を身に付けます。「無理のない自然な声の出し方で」とは、旋律のまとまりを感じ取りながら音域や強弱に応じた声の出し方、子音・母音の発声などを身に付けて表現することを目指します。また、Let's Sing! 「歌うための準備」で姿勢や息のコントロール、母音の発音などを理解しながら技能を身に付けたり、「アニー・ローリー」や「希望という名の花を」では歌唱表現に必要なさまざまな技能を身に付けたりすることを目指します。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

「青空へのぼろう」

- ・ 強弱や音域を意識した声の音色
- ・ 8小節を基本とする旋律のまとまり
- ・ 強弱の変化と効果、曲の山場（クライマックス）との関係
- ・ 旋律のまとまりと楽曲全体の構成

「アニー・ローリー」

- ・ オクターヴ跳躍の反復がある旋律
- ※ 「青空へのぼろう」の音楽的な見方・考え方も活用

■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現（1）歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○	○	

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	声の音色や響き，音域と声の出し方との関わりについて理解している。 音域に応じた発声，母音の発音，歌う姿勢などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識（声の音色や響き，音域と声の出し方との関わり）や技能（音域に応じた発声，母音の発音，歌う姿勢など）を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 B創作



本ユニットでは、七五調の短い歌詞を作り、言葉の抑揚やまとまりなどを生かして短い旋律をつくる学習を展開します。「日本語の抑揚を生かした」とは、言葉の抑揚を指定された三音「ミ・ソ・ラ」の選択に活用することで、七五調の歌詞を旋律のまとまりと関連させて工夫することを目指すものです。また、旋律のまとまりは言葉のリズムとも関連するため、これらを合わせて創作表現を工夫します。

■ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 選択する三つの音の響き
- ・ 言葉のリズムや抑揚と旋律との関わり
- ・ 七五調の歌詞と2小節の構成

■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (3) 創作			
ア	イ		ウ
	(ア)	(イ)	
○	○		○

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。[ウ]
思考力・判断力・表現力等	創作表現に関わるイ-(ア)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解している。 歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	創作表現に関わる知識（言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴）や技能（歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能）を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 C鑑賞



「春」第1楽章を主要教材にして、曲想とリトルネッロ形式による音楽の構造との関わりを理解したり、ソネットを音楽でどのように表しているかを聴き取ったりしながら、音楽に対する価値意識を考える学習を展開します。そして「秋」第1楽章と比較鑑賞することで、曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関連について理解を深めます。また、「弦楽合奏のセレナード」では、弦楽合奏による表現の豊かさを味わって鑑賞します。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

「春」

- ・ 旋律を演奏する楽器の音色や響き
- ・ リトルネッロ部の旋律とエピソード部の旋律
- ・ 強弱の変化と効果
- ・ リトルネッロ形式に基づく楽曲全体の構成

「秋」

※ 「春」の音楽的な見方・考え方を活用

■ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
○			○		

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。[イ-[ア]]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(ア)の知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。[ア-(ア)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わりについて理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わり）を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 D歌唱



「夏の思い出」を主要教材にして、順次進行を多用した旋律、旋律のまとまりと二部形式との関係を理解して曲想を感じ取りながら表現することを目指します。そして、日本語の発音、強弱や音域に応じた発声などの基礎的な技能を身に付けながら表現を工夫します。「赤とんぼ」では一部形式や跳躍進行が多用されていることなどを理解して表現を工夫し、「この道」ではこれらの学習を生かして歌詞と旋律のまとまりとの関係に着目します。

■ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

「夏の思い出」

- ・音域に応じた声の音色
- ・順次進行を基本とする旋律
- ・旋律のまとまりや反復
- ・拍子や強弱の設定
- ・二部形式による楽曲全体の構成

「赤とんぼ」

- ・跳躍進行を基本とする旋律のまとまり
 - ・一部形式による楽曲全体の構成
- ※「夏の思い出」の音楽的な見方・考え方も活用

■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現（1）歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	○		○	

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声，鼻濁音の発音などを身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識（曲想と形式や歌詞との関わり）や技能（音域や強弱に応じた発声，鼻濁音の発音など）を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 E 創作



本ユニットでは、擬音語・擬声語などを使って簡単なストーリーを表現します。ストーリーと関連する四つの擬音語・擬声語を選び、それらを重ねたり反復させたりして表現を工夫します。さらに、担当するア～エの擬音語・擬声語を表現する際に、声の音色やリズム，速さや強弱などを工夫し，他の担当との関わりを感じ取りながら表現することも考えられます。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 選んだ言葉（擬音語・擬声語）の響きやリズム
- ・ 選択した言葉の反復や重ね方による全体の構成

■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (3) 創作			
ア	イ		ウ
	(ア)	(イ)	
○		○	○

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	音素材の特徴及び音の重なり方や反復，変化，対照などの構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。[ウ]
思考力・判断力・表現力等	創作表現に関わるイ-(イ)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら，創作表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。 テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	創作表現に関わる知識（言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴）や技能（テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能）を得たり生かしたりしながら，創作表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 F鑑賞



「魔王」（シューベルト）を主要教材にして、各登場人物の表現の特徴と通作歌曲による音楽の構造を理解し、曲想を感じ取りながら音楽に対する価値意識を考える学習を展開します。この学習を生かして「魔王」（ライヒャルト）では、有節歌曲による音楽の構造を理解し、音楽の特徴を聴き取りそれぞれの曲想を味わいながら鑑賞することを目指します。「野ばら」（シューベルト）は、他の作品と比較鑑賞することで学習の深まりを期待します。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

「魔王」（シューベルト）

- ・ 登場人物ごとの旋律と変化
- ・ 歌とピアノ伴奏との関わり
- ・ 強弱の変化と効果
- ・ 通作歌曲に基づく楽曲全体の構成

「魔王」（ライヒャルト）

- ・ 有節歌曲に基づく楽曲全体の構成
- ※ 「魔王」（シューベルト）の音楽的な見方・考え方も活用

■ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
	○			○	

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解する。[イ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(イ)の知識を得たり生かしたりしながら，生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く。[ア-(イ)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら，生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（歌曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わり）を得たり生かしたりしながら，作曲当時の歌曲の意味や形式の違いについて自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら，生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 G 歌唱



「明日を信じて」を主要教材にして、パートの役割を理解し全体の響きや各声部を聴取しながら表現を工夫します。そして、楽曲全体の構造（【1】冒頭8小節：斉唱，【2】続く8小節：混声合唱，【3】これ以降）を演奏形態の変化とともに捉え、曲想の変化を感じ取りながら合唱で表現する技能を身に付けます。「飛び立とう君の空へ」では、「明日を信じて」と音楽の構造を比較し、担当するパートの役割を確認しながら表現を工夫します。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

「明日を信じて」

- ・ 主旋律の山場（クライマックス）と強弱との関係
- ・ 主旋律と担当するパートとの関係
- ・ パートの重なり方や役割
- ・ 楽曲全体の構成

「飛び立とう君の空へ」

- ・ 8小節を基本とする旋律のまとまりと楽曲全体の構成
- ※ 「明日を信じて」の音楽的な見方・考え方も活用

■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現（1）歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	○			○

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。[ウ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識（曲想と音楽の構造との関わり）や技能（全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う）を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 H鑑賞



「六段の調」では、箏の発音原理や様々な奏法などに着目し、音楽の構造となる「段物」による構成を理解して鑑賞します。そして、楽曲全体の曲想や各段の曲想の変化を感じ取りながら箏曲の特徴を理解し聴き深めます。また、Let's Try! で箏の演奏を体験したり「鹿の遠音」と比較鑑賞したりすることで、我が国の音楽の多様性を理解します。さらに、「日本とアジアをつなぐ音」ではグージョン（古箏）やカヤグムと比較し、共通性や固有性からそれぞれの特徴を理解する学習へと発展させます。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

箏曲「六段の調」

- ・ 箏の音色や平調子の響き
- ・ 拍の表れ方（初段）や速度の変化
- ・ 各段の旋律
- ・ 段物による楽曲全体の構成

尺八曲「鹿の遠音」

- ・ 尺八の音色
- ・ 速度（間）や二本の尺八のテクスチャ

■ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
		○			○

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。[イ-(ウ)]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。[ア-(ウ)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	箏や尺八の音色や調弦による響き、音楽の構造などの特徴とその多様性について理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（箏や尺八の音色や調弦による響き、音楽の構造などの特徴とその多様性）を得たり生かしたりしながら、箏曲と尺八曲との共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年 | 歌唱



「ソーラン節」は、もともとニシン漁で歌われた仕事歌で、声の出し方や旋律装飾の仕方、歌い合わせ方（音頭一同形式）などの特徴を感じ取って表現を工夫することができます。また、同じ仕事歌である「かりぼし切り歌」と比べ、拍節の表れ方や旋律の装飾やまとまりなどから特徴を理解し表現を工夫します。また、「谷茶前」では、言葉の特性、歌や伴奏との合わせ方などの特徴を捉えて学習します。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

「ソーラン節」

- ・ 声の音色や響き
- ・ 旋律の装飾の仕方や歌い合わせ方
- ・ 音頭一同形式による楽曲全体の構成

「かりぼし切り歌」

- ・ 拍の表れ方や旋律の装飾の仕方
- ※「ソーラン節」の音楽的な見方・考え方も活用

■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (1) 歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○		○

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。[ウ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わりについて理解している。 囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識（声の音色や民謡の表現に応じた発声との関わり）や技能（囃しことばや作業の動作に応じた拍節の取り方や、音頭一同形式で合わせて歌う技能）を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

「学びのユニット」指導計画 1年」鑑賞



このユニットでは、「天台声明」「八木節」「江差追分」を教材にして、声の出し方や合わせ方、伴奏の楽器との関係などからそれぞれの特徴を聴き取ります。また、アジア地域の声による表現として「ケチャ」「ホーミー」「布農（ブヌン）族の合唱」と比較し、表現の共通性や固有性から多様性を理解しながら鑑賞します。そして人々の暮らしとどのように関わっているかを考え、日本とアジア地域の音楽や芸能の豊かさを味わいます。

■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 声の音色や響き
- ・ 太鼓や囃子のリズムと歌の関わり
- ・ 拍や拍子の表れ方

- ・ 声の合わせ方、伴奏との合わせ方
- ・ 強弱の変化と効果
- ・ 音楽全体の構成

■ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
	○				○

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。[イ-(ウ)]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。[ア-(イ)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	我が国やアジア地域の声による表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（我が国やアジア地域の歌唱表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性）を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。